令和７年度　自己評価・学校関係者評価報告書

令和８年３月31日
日当山総合こども園

1.本園の教育目標

様々な実体験（あそび）を通し一人ひとりの感性を磨き個性を尊重しながら可能性を引き出す。そして生きる力の基礎を培い園児の健やかな成長が図れるよう心身の発達を助長する。友達と十分にかかわって遊びや活動に取り組めるように配慮し幼児期にふさわしい生活が展開されるような幼児教育を目指している。

2.本年度重点的に取り組んだ目標・計画

遊びを中心として子供達が伸び伸びと活動する教育活動の充実に努め、規則正しい生活習慣を身に付け自立心を養う。安心で安全な環境を整えるよう努め保護者に対しては子育てに関する悩み、相談に対応できる体制を構築する。

3.評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育・保育活動の充実	A	子供達のやってみたい気持ちを大切に保育に取り組んできた。 また活動が適切に行われるよう職員会を充実させ子供達の様子や環境を教師が共通理解することで保育が向上に努めた
2	基本的生活習慣	A	休みの日も平日同様基本的な生活するよう啓蒙し園内における基本的な身の回りの事は時間をかけて指導するよう努めた
3	安全管理	A	毎月１回避難訓練や地震・不審者予防訓練を実施した 職員による毎日の遊具や建物等の安全点検を行い即時改善を行った。
4	保護者への対応	B	個人面談や電話連絡、お迎えの際、情報共有を意識的に行い園と家庭が連携をとった。園内の情報はしっかり発信した
5	小学校との連携	B	学校に出向き卒園した園児の積極的に参観し行い直接様子も知り共有できている。 幼小連絡会にて園児の情報を提供した
6	研修と研究	A	リモート研修は積極的に参加し、月一回の園内研修を充実させ教師自身の努力や資質も向上しに努めた

評価(A…十分にあった　B…成果があった　C…少し成果があった　D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	取り組むべき課題について全職員が共通理解し、それぞれ自己評価した。 職員とは個人面談を充実させて、悩みや不安を聞くように努めた。 体調不良の際は気にせず休める体制はできている。 主任やリーダー的存在の職員がフォローできる体制は整っている。 行事等の指導計画や反省など職員間でよく話し合えている 保護者によるアンケートの結果では9割以上の方の高い評価を頂いている

評価(A…十分にあった　B…成果があった　C…少し成果があった　D…成果がなかった

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育活動の充実	園の方針や、教育活動に基づいた計画・実行ができるように保育の質を更に高める。 研修会に積極的に参加し、保育計画の実行を進める為の子どもの発達の理解、保育内容の充実を図る 今後も園内研修を充実させて企画・指導案等を計画的に行うよう今後も務める。
2	基本的生活習慣	個々の基本的生活習慣の到達状態を保護者と共に見直しより良い指導、保育に努める
3	安全管理	危機管理マニュアルの見直しを含めてより一層安心・安全管理に努める
4	保護者への対応	保護者の方が安心できるよう、園児の様子や情報発信にも努める
5	小学校との連携	学校行事や年度末の幼小連絡会を行いスムースに就学できるようにする。指導要録や個人記録の充実を図る
6	研修と研修	地域内における研修は積極的に参加する。 園内研修やリモート研修の充実を図る

6. 学校関係者評価委員会の評価

保育園部・幼稚園部全ての園児が大きな事故や怪我をすることもなく過ごせた
感染症対策においては、夜間にオゾン消毒を行い園児が感染しやすいトイレや手洗い場など特に注意しているが今年のインフルエンザの流行はA型B型が時間差で流行った為職員にも感染が広がり落ち着くのに時間を要した。
保護者の行事参加は園児の成長を楽しみにされている様子がうかがえる。
職員においては、不平・不満がないように公平な働き方を工夫する事が大事だと考える。
※保護者アンケート回答数90%　　後援会役員10名　　評議員11名　　教職員52名

令和8年度も引き続き、評価・結果の公表を行っていくものとする。